

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスオリーブ

支援プログラム

作成日

R7 年

2月

1日

法人（事業所）理念		私たちはお子様たちとの出会いを大切にします。お子様たちが将来安心して社会生活を送れることが目標です。常に思いやりを持ちながらお子様たちの個性と長所を伸ばす支援を心掛けます。		
支援方針		こころとからだに働きかける多くの活動（運動、音楽、SSTなど）でお子様たちの得意を伸ばしていく。個々のペースで楽しめるプログラムをにより充実した時間作りをする。お子様たち一人一人の見え方を想像し認め合う社会を経験してもらええる環境を作る。		
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	音楽活動（音による挨拶で活動の始まりと終わりの意識が持てるようになる等）、運動療育、食事やおやつ時のマナーや姿勢、トイレトレーニング、障害特性に配慮しながら時間や空間を分かりやすく構造化すること、学校休業日のおやつレクなどから健康・生活に関連する支援に取り組んでいます。		
	運動・感覚	音楽活動（体を動かすことで情動の発散を促し歌を歌ったり楽器を演奏する楽しさを味わう）、運動療育（バランス感覚や力の強弱、距離感など）創作活動（指先のトレーニング）、食事やおやつ時のマナーや姿勢についての支援、自由時間での公演遊び、などから運動・感覚に関連する支援に取り組んでいます。		
	認知・行動	音楽活動（音楽と動きの一体化により自己コントロールを意識し五感を刺激するなど）、運動療育（ボディイメージの形成）、脳バランサーキッズ（大小、色などの習得）、スケジュールやルール提示などの視覚的ツールを利用した支援などから認知・行動に関連する支援に取り組んでいます。		
	言語コミュニケーション	イエス・ノーカードなどのコミュニケーション手段の活用、脳バランサーキッズなどの利用、障害特性に応じた読み書き能力の向上、SSTを取り入れ、社会の中で暮らしていくためのスキル獲得を伸ばすなどから言語コミュニケーションに関連する支援に取り組んでいます。		
	人間関係社会性	音楽活動（歌や楽器に触れる中で周りの人との一体感を味わうなど）、集団遊びの活動、運動療育などから人間関係・社会性に関連する支援に取り組んでいます。		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家族からの相談に傾聴し適切な助言をします。 障害の特性に配慮した家庭環境の整備に関する助言をします。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者様の生活している環境や場所を良いものにしていくことを前提に放課後児童クラブへの移行支援や平行利用の支援をしていきます。また、必要時学校や園との情報交換を行います。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所や近隣の放デイ・児発との連携を図ります。 将来を見据えて成人の事業所などからの情報収集や連携を図ります。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> スキルアップ研修など外部研修への積極的な参加や法定研修（虐待防止研修、身体拘束防止研修）は事業所内での研修に加え、積極的に外部研修にも出席するよう取り組んでいます。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 長期休みの外出プログラムやおやつレク（外出先はリクエストボックスを準備しお子様にも案を頂いております）を計画しています。 夏はプール遊びや流しそうめん、お楽しみ会など冬はクリスマス会などの行事を計画しています。 		